

日本学術会議

若手アカデミー 地域活性化に向けた社会連携分科会（第25期・第2回）

議事要旨

日 時 令和3年6月2日（月）15:00～17:00
会 場 ビデオ会議
出席者 加藤、高槻、近藤、寺田、小野、笠井、岸村、新福、田井、高（高）田、
前川、山田

議 事

（1）昨年度の活動の振り返り

小野会員より、公開ワークショップ「若手科学者が拓く地域と科学の関係」（2020年3月開催）の実施報告がなされ、アンケート結果などもふまえて、分科会の活動方針に照らした成果と反省点について議論した。

（2）現在進行中の活動の共有

小野会員より、地域社会への貢献を含む研究者の様々な役割の可視化に向けた調査に関する検討状況が共有された。また、同活動に関連し、岸村会員より、文部科学省「産業連携・地域支援部会（第10期）地域科学技術イノベーション推進委員会」の活動についての同省担当課との意見交換を行った旨が共有された。これらについて意見交換を行い、引き続き、前述の調査の内容及び進め方について検討を進めることが確認された。

（3）今後の予定の共有

近藤会員（幹事）より、「Japan Open Science Summit 2021」（2021年6月開催予定）及び「筑波会議2021」（2021年9月開催予定）の各々において、若手アカデミーによるセッションを企画し、本分科会メンバーが科学と地域との関係や在来知に関する発表を行う予定である旨が報告された。また、高田会員及び高槻会員より、両名が所属大学の枠組みで実施中の高校生を対象としたアカデミックインターンの概要や進捗が共有された。これらについて、意見交換を行い、引き続き、成果の共有を図ることが確認された。

（4）その他

次回の分科会まで、引き続き、各活動の進捗・成果について、情報共有を図る旨が確認された。